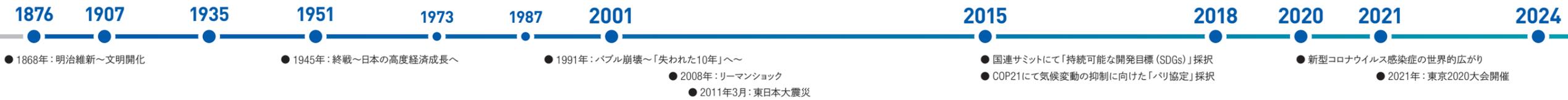


# DNPグループの価値創造ストーリー

## 変革の軌跡

### 出版印刷業からP&Iイノベーションへビジネスモデルを変革



- 1876年：DNPの前身「秀英舎」創業
- 1907年：「日清印刷」創業
- 1935年：秀英舎と日清印刷が合併し大日本印刷発足
- 1951年：「再建5か年計画」始動、拡印刷を推進
- 1973年：米国ダネリー社を抜き、世界最大の総合印刷会社に
- 1987年：情報加工産業への変革を掲げる
- 2001年：「DNPグループ21世紀ビジョン」発表
- 2015年：「DNPグループビジョン2015」策定
- 2018年6月：北島義斉社長就任
- 2020年3月：「人権方針」策定
- 2020年3月：「環境ビジョン2050」策定
- 2021年4月：「健康宣言」を発する



多様な印刷プロセスを構築し、「P&I」(印刷と情報)の強みを進化  
→印刷プロセスに立脚した技術体系の基盤を構築



1877 書籍「改正西国立志編」印刷



1945-49 民間企業として紙幣印刷の一部を担当

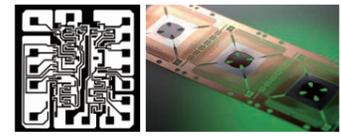
印刷技術の応用・発展で事業領域を拡大する「拡印刷」推進  
→「第二の創業」を実現し世界で稀な「総合印刷業」へ



1951 紙器・軟包装分野、建材分野に進出



1958 ブラウン管用シャドウマスクの開発に成功し、カラーテレビの国産化に貢献



1959 トランジスタ用蒸着マスク開発(左) ▶半導体用フォトマスクの事業拡大へ

1964 リードフレーム製造開始(右)

1964 東京オリンピックの印刷物担当  
1970 大阪万博でパビリオン9館の出展企画を受託  
▶企画関連の事業を拡大

モノづくり&サービス、アナログ&デジタル、リアル&バーチャルなど、DNPならではのハイブリッドな強みの深化で事業を拡大



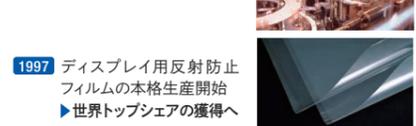
1972 コンピューター組版システム(CTS)本格始動(左)  
1983 ICカードを開発(右)：国内初の書き換え可能ICカードを実用化 ▶国内トップシェアの獲得へ  
1985 世界初のCD-ROM版電子辞典を開発



1985 昇華型熱転写記録材を開発～生産開始：プリントシール機の普及等により事業を拡大 ▶世界トップシェアの獲得へ



1985 液晶カラーフィルター生産技術を開発



1996 独自のEBコーティングによる各種シートの生産を開始



1997 PETボトルのインライン無菌充填システムを開発

1997 ディスプレイ用反射防止フィルムの本格生産開始 ▶世界トップシェアの獲得へ

1999 リチウムイオン電池用バッテリーパウチを製品化 ▶世界トップシェアの獲得へ

DNP自身が直接社会や生活者に向き合い、社会課題を解決し、期待・ニーズに応える価値を提供する「第三の創業」の実現へ

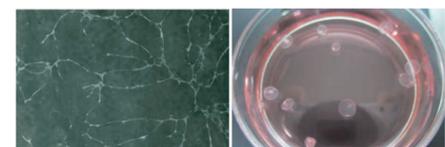
### 地球環境や人々の健康などに配慮した各種製品・サービスを展開



「DNP環境配慮パッケージング GREEN PACKAGING®」の展開(上)、抗菌・抗ウイルス製品のラインアップの充実(下)、低反射フェイスシールドや低反射フィルムパーティション等の開発・販売など



※SIAAマークはISO 22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されます。



2004 毛細血管パターン作製の成功(左)  
2017 「ミニ腸」の研究開発に成功(右) ▶再生医療分野の事業へ



2018 東京大学と共同で、伸縮自在な薄型ディスプレイを開発：皮膚に貼れるスキンエレクトロニクス



2014 電源無しで内部を長時間一定の温度に保つ「DNP多機能断熱ボックス」を開発  
2019 ▶第28回地球環境大賞の「大賞」を受賞



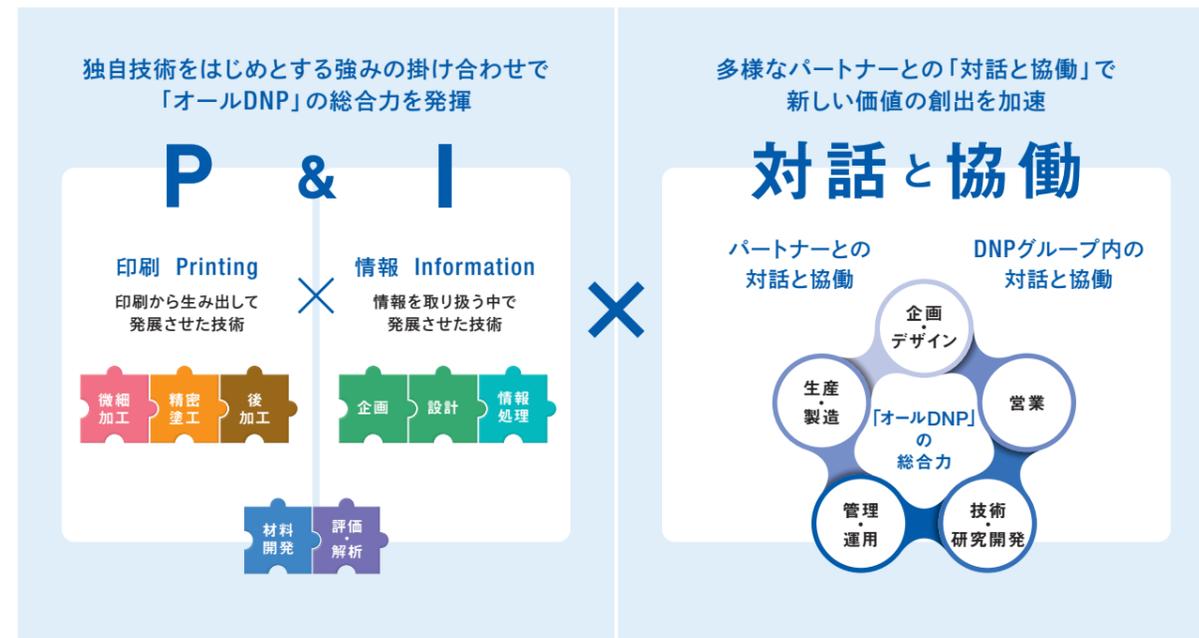
2003 太陽電池用部材を開発  
2024 ▶両面採光型太陽電池モジュールの発電量を向上させるシートを提供開始



2017 曲面樹脂ガラスを開発：サンルーフ等に用いて自動車の車体を軽量化

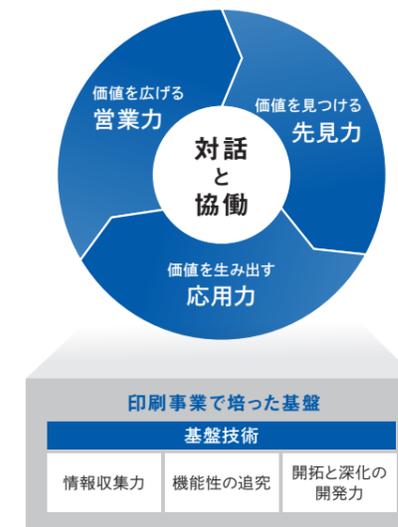
# P&Iイノベーション

印刷プロセスから生み出された技術を活かし、トップシェア製品群につなげる



DNPは、印刷プロセスに立脚する多様な独自技術を常に最先端のものに磨くとともに、営業・企画・製造・管理等の強みと掛け合わせて、新しい価値をつくり出していきます。「印刷 (Printing) と情報 (Information)」とともに進化させてきたDNPの強みは他社にはない独自のものです。

また、価値創出のスピードを上げていくため、社外の多様なパートナーとの連携も強化していきます。強みの掛け合わせには無限の可能性があり、「より良い未来」の実現に向けて、「オールDNP」で総合力を発揮していくことで、人と社会に欠かせない新しい価値の創出に挑戦していきます。



## 新しい価値を生み出す力

先を読み、自社技術を活用して創出した価値をスピーディに全世界に提供



将来性を見抜く先見性 10年先と足元の二つの視点で 製品・サービスを開発  
 自社の技術を活用し、別の用途に転換する力  
 国内で確立した事業モデルをグローバルに展開

## 印刷事業で培った基盤

機能性の高い製品・サービス群、取引先・顧客との信頼関係



数万社もの取引先・顧客との信頼関係と、そこから得る有効な情報  
 印刷プロセスで培った技術を基盤に、新たな機能性と価値を創出  
 「開拓」と「深化」の反復により、広範な事業領域を形成

## 印刷プロセスに立脚した技術の応用・発展

印刷プロセスから培った技術	技術の応用
1 編集	<p><b>企画・設計</b></p> <p>情報の発信と受信の双方の視点で、最適なコミュニケーション施策やアウトプットの形を設計します。出版・マーケティング、包装・建材、電子部品等に対応し、最適なプロセスも構築。生活者の体験価値を向上させるサービスの開発や、デザイン思考の導入など、価値創出につながる編集力を進化させています。</p>
2 入稿・レイアウト	<p><b>情報処理</b></p> <p>テキスト・図版・動画・音声等、多様な情報のフォーマットを整え、最適な形に変換・処理します。前工程 (プリプレス) と呼ぶ工程で、最適な色調のマネジメントや大量データの管理にも対応。セキュリティ関連の技術も深め、重要情報を安全・安心に取り扱い、グローバルな事業への対応力を強化しています。</p>
3 製版・刷版	<p><b>微細加工</b></p> <p>印刷用原版となる精度の高い「刷版 (さっぱん)」を作成します。この工程の技術を発展させ、金属・ガラス・樹脂等の基材に微細なパターンを形成。エッチング (腐食) や賦型 (材料加工) 等の技術を独自進化させ、最先端のエレクトロニクス製品や偽造防止のホログラムなど、多様な製品を生み出しています。</p>
4 印刷	<p><b>精密塗工</b></p> <p>多様な印刷方式に合わせた刷版にインキ等をつけ、紙やフィルム等に薄く均一かつ精密に塗布します。基材を金属やガラス等に上げたり、多層構造にしたりと、さまざまな応用にも注力。DNP独自のEBコーティングもこのプロセスの成果。光や温度の制御、水や酸素のバリア、耐候性・耐傷性等の機能を付与します。</p>
5 製本・加工	<p><b>後加工</b></p> <p>書籍や雑誌等の最終形を生み出す工程で、各種の加工プロセスから派生した技術群があります。多様な製品を生活者に使いやすい形に整えます。型抜きや組み立て等の立体加工にも優れ、食品・飲料・日用品のパッケージや、内容物の無菌充填システムにも応用。各製品の検査・計測・解析にもつながっています。</p>

## 製品への発展

- 各種プロセス設計・最適化
  - デザイン思考等の各種アプローチ
  - RPA (Robotic Process Automation)
  - AI (人工知能) の活用 など
- 
- 情報セキュリティ
  - XRコミュニケーション事業
  - ICカード/決済・認証
  - デジタルアーカイブ
  - データセンター
  - メタバース
  - カラーマネジメント
  - 秀英体フォント など
- 
- 有機ELディスプレイ製造用メタルマスク
  - 半導体用フォトマスク/ナノインプリント用原版
  - 各種電子デバイス (MEMS・リードフレーム他)
  - 各種セキュリティ関連製品 など
- 
- ディスプレイ用各種光学フィルム
  - リチウムイオン電池用バッテリーパウチ
  - EBコーティング等による各種機能性フィルム
  - 写真プリント用部材
  - 包装
  - 建材 など
- 
- 無菌充填システム (PETボトル・パウチ等)
  - 各種立体容器 (カートン・ラミネート等)
  - DNP多機能断熱ボックス
  - POP等の販促物 など

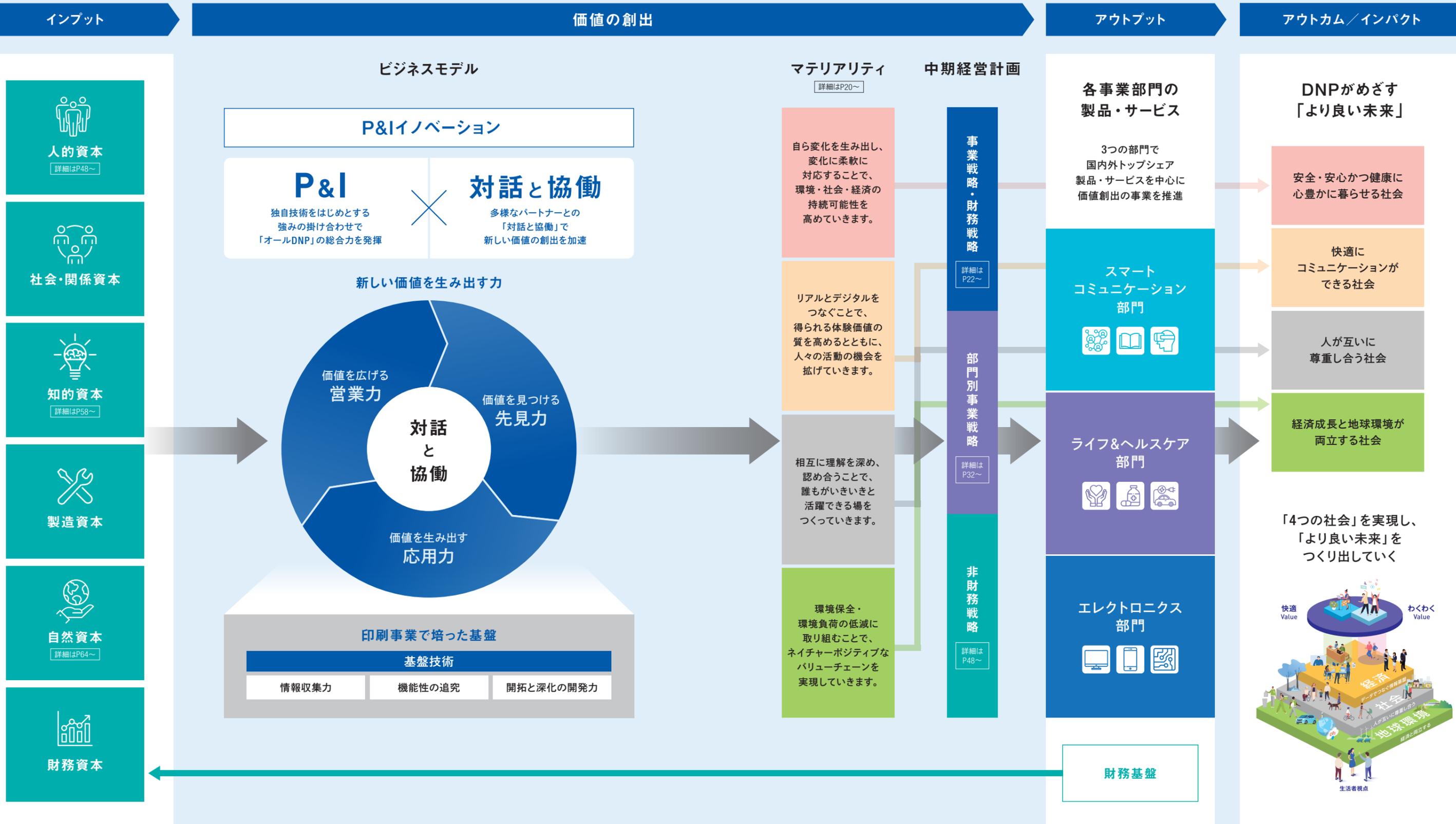
## 強靱な事業ポートフォリオを構築

2020	2030	FUTURE
<p><b>【新規】コンテンツ・XRコミュニケーション関連</b></p> <p>2021 リアルとバーチャルの空間を融合して新しい体験と経済圏を創出するXRコミュニケーション事業を推進</p>	<p><b>【新規】メディカル・ヘルスケア関連</b></p> <p>2023 シミックホールディングスとの戦略的提携で、原薬から製剤の一貫製造や付加価値型医薬品の開発などを推進</p>	<p>多様なパートナーとの連携を強化</p>
<p><b>【成長牽引】デジタルインターフェース関連</b></p> <p>2024 世界トップシェアの有機ELディスプレイ製造用メタルマスクの生産能力を拡大: 第8世代ガラス基板に対応した大型製品の製造を開始</p>	<p><b>【成長牽引】半導体関連</b></p> <p>2023 SCIVAX社と合併会社「ナノインプリントソリューションズ」を設立: 国内外からのナノインプリント製品の量産ニーズに対応</p>	<p>多様なパートナーとの連携を強化</p>
<p><b>【成長牽引】モビリティ・産業用高機能材関連</b></p> <p>2019 自動車内装用次世代加飾パネルを開発 (左)</p> <p>2019 電気自動車向けワイヤレス充電用シート型コイルを開発 (右)</p>	<p><b>【基盤】イメージングコミュニケーション関連</b></p> <p>2024 世界最軽量クラスの8インチ両面フォトプリンターを発売</p>	
<p><b>【基盤】情報セキュア関連</b></p> <p>誰もが快適で安心な生活ができる社会の実現をめざして「認証・セキュリティ」関連の各種事業を展開</p>		

# 価値創造プロセス

P&Iイノベーションにより「より良い未来」と企業価値向上を実現

DNP自身が「より良い未来」をつくり出していくため、常に先を読んで自ら変革を起こし、「対話と協働」によって強みを掛け合わせて新たな価値を創出し、迅速に全世界に提供しています。



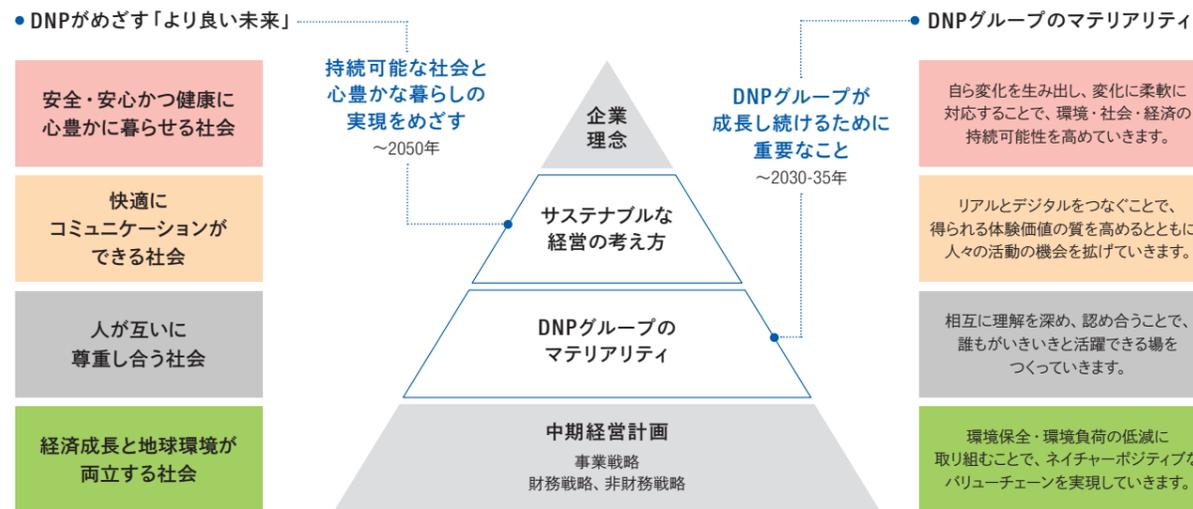
# マテリアリティ

## DNPがめざす「より良い未来」の実現に向け、マテリアリティを特定

DNPグループは、企業理念に基づき、サステナブルな経営の考え方として「持続可能なより良い社会、より心豊かな暮らし」の実現をめざしており、自らが主体となって「より良い未来」をつくり出すための事業活動を展開しています。2024年3月、「より良い未来」としてめざす、それぞれ相

互関係にある「4つの社会」の実現に向けて、2030-35年を見据えて、DNPが何をすべきか、どのような価値をつくり出していくのかを具体化することで、DNPが社会とともに成長し続けるために重要なこととしてのマテリアリティを特定しました。

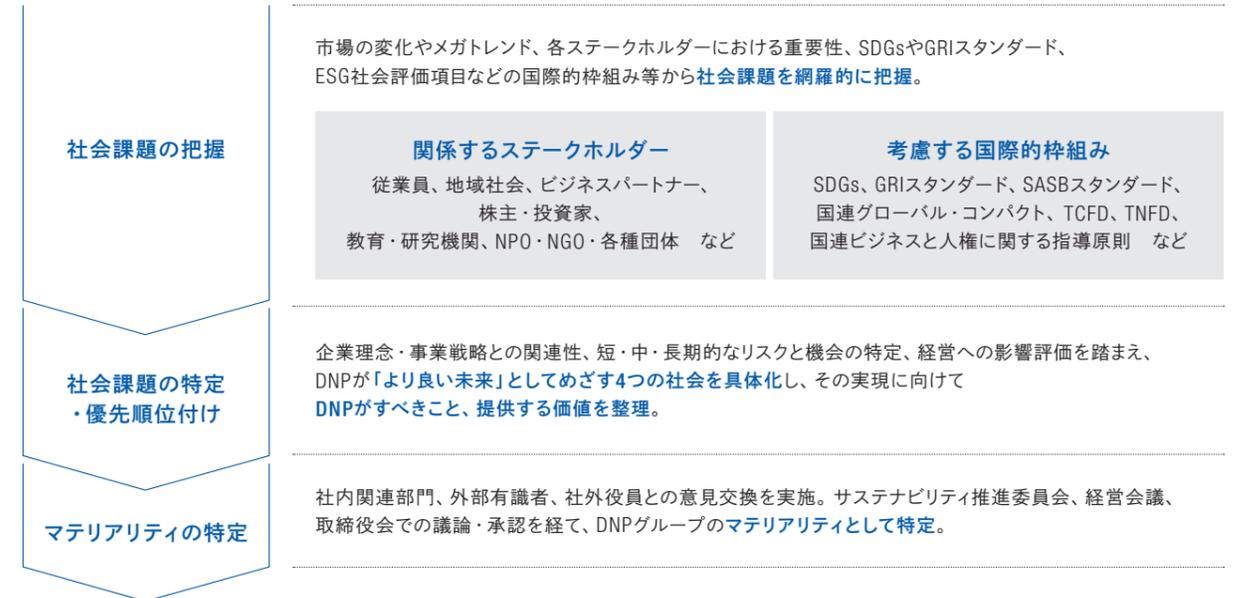
### ☑ DNPグループの理念体系とマテリアリティ



### マテリアリティの特定プロセス

マテリアリティの特定にあたっては、「環境・社会・経済」関連の社会課題やメガトレンド等を網羅的に把握し、自社事業活動への影響や提供できる価値、自社の強みなどから、中長期的なリスク(変動要素)と事業への影響を評価・分析しています。

これらの外部動向を踏まえ、DNPがめざす4つの社会を具体化し、その実現に向けて、DNPがすべきこと、提供する価値を整理し、マテリアリティとして特定しました。



### マテリアリティに基づく事業活動

マテリアリティに基づく事業活動として、DNP独自の「P&I」(印刷と情報)の強みの進化・深耕により、注力事業領域を中心に、横断的に新しい価値の創出を進めています。

同時に、企業価値向上と事業競争力強化の両面で、経営基盤の強化とリスクマネジメントの徹底を図り、マイナスの影響を最小化しています。

### ☑ 抽出したリスク(変動要素)に対する事業活動への影響と事業機会への反映

	事業活動に関連深いリスク(変動要素)	想定される事業への影響	事業機会への反映
経済関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場の変化、新規製品・技術の開発加速</li> <li>DXやグローバルネットワーク等の加速</li> <li>地政学的影響、経済指標の急変動</li> <li>金融・情報インフラの変動</li> <li>資源の枯渇・供給不足・制限 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業構造の変化、新規事業・開発の競争激化</li> <li>AI活用における人権侵害、偽情報の発信</li> <li>景気・消費動向の低迷・急変、需給バランス変化</li> <li>情報セキュリティの脅威の激化</li> <li>安定調達への影響、物価高騰 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>注力事業領域を中心とした価値創出、パートナー連携強化</li> <li>AI革新による事業化・効率化、AI活用の加速</li> <li>サイバー空間とフィジカル空間の融合</li> <li>信頼性・透明性の高い情報の提供</li> <li>ITガバナンス強化、高度なセキュリティ対策 など</li> </ul>
社会関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働力不足、雇用流動化</li> <li>多様性、心地よく生きるための条件変化</li> <li>サプライチェーンのグローバル化、地政学的リスク など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門人材確保・育成の困難、人件費の増大</li> <li>価値観の多様化、ダイバーシティの認知</li> <li>人権等サプライチェーンリスクの高まり</li> <li>規制強化、地政学リスクによる影響顕在化 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>強靱な人材ポートフォリオ構築</li> <li>業務効率化による人材不足の解消</li> <li>D&amp;Iの推進、多様な人材活用、労働環境・人権への配慮</li> <li>サプライチェーンの透明化による信頼性向上 など</li> </ul>
環境関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動による災害の激甚化、水リスクの高まり</li> <li>プラスチック汚染・生物多様性の損失の加速</li> <li>ネイチャーポジティブ・カーボンニュートラル・循環経済への移行の加速</li> <li>環境ポジティブな市場拡大、技術革新加速 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会インフラ損壊による操業停止、サプライチェーン寸断</li> <li>GHG排出量の規制強化</li> <li>リユース・リサイクルの拡大、代替素材切替要請の高まり</li> <li>ネイチャーポジティブに向けた事業構造の変革</li> <li>新規事業・開発の競争激化、市場動向変化 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCP・BCMによる自然災害への対応、生産拠点複数化</li> <li>低炭素製品・サービス・代替素材製品の提供、資源の有効的な利活用</li> <li>早期技術開発・製品設計変更による市場拡大 など</li> </ul>

### DNPがめざす「より良い未来」

	安全・安心かつ健康に心豊かに暮らせる社会	快適にコミュニケーションができる社会	人が互いに尊重し合う社会	経済成長と地球環境が両立する社会
スマートコミュニケーション部門 ● 詳細はP32~	自ら変化を生み出し、変化に柔軟に対応することで、環境・社会・経済の持続可能性を高めていきます。	リアルとデジタルをつなぐことで、得られる体験価値の質を高めるとともに、人々の活動の機会を拡げていきます。	相互に理解を深め、認め合うことで、誰もがいきいきと活躍できる場をつくっていきます。	環境保全・環境負荷の低減に取り組むことで、ネイチャーポジティブなバリューチェーンを実現していきます。
ライフ&ヘルスケア部門 ● 詳細はP32~				
エレクトロニクス部門 ● 詳細はP32~				
人的資本の強化 ● 詳細はP48~				
知的資本の強化 ● 詳細はP58~				
環境への取り組み ● 詳細はP64~				
価値の創出	スマートコミュニケーション部門 ● 詳細はP32~	ライフ&ヘルスケア部門 ● 詳細はP32~	エレクトロニクス部門 ● 詳細はP32~	人的資本の強化 ● 詳細はP48~
経営基盤の強化	知的資本の強化 ● 詳細はP58~	環境への取り組み ● 詳細はP64~		
持続的な成長を支えるリスクマネジメントの徹底				
テーマ: 公正な事業慣行、人権・労働、環境、責任ある調達、製品の安全性・品質、情報セキュリティ、企業市民				